

○30年度の自己評価結果

<p>前年度の重点目標</p>	<p>「学力」と「人間力」を育成し、「自己実現」を図る。その実現のために、下記(1)～(3)に取り組む(重点目標は各項目のア)</p> <p>(1) 学力の育成(目標;基礎学力の定着と応用力の伸張。進路目標の実現)</p> <p>ア. 授業力の向上(思考力・判断力等の育成をめざした発問等の工夫)</p> <p>イ. 家庭学習習慣の確立</p> <p>ウ. キャリア教育の推進</p> <p>エ. 個に応じたきめ細かな指導</p> <p>(2) 人間力の育成(目標;自己肯定感と帰属意識の涵養。道徳性・社会性の向上)</p> <p>ア. 学校行事の充実(南高祭を創立40周年記念事業として位置づけ)</p> <p>イ. 部活動の活性化</p> <p>ウ. 基本的生活習慣の確立</p> <p>エ. 人権教育の推進</p> <p>(3) 教職員の多忙化解消(目標;月刊在校時間80時間超ゼロ)</p> <p>ア. 勤務の割り振り変更・振替・年休の活用促進</p> <p>イ. 業務の見直しと再構築</p> <p>ウ. 安全衛生委員会との連携</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題 <small>(表中の割合を示す数値については、生徒、保護者、教員各層のアンケート結果による)</small></p>
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>①学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回学習時間調査の実施 ・9月に家庭学習強化週間の設置 ・授業での予習、課題点検の実施 ・個人面談、学習相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に比べ11月の家庭学習時間が、1年は減少、2・3年は増加という変化は、例年どおりであるが、2年の30分程度以下の生徒が未だに15%程度いることが心配である。 ・アンケートの結果より、「情報がなくて、わからない」と答えた保護者が7%あり、昨年度より少し減った。さらに、情報発信し、保護者と協力して家庭学習習慣の定着を図っていきたい。
<p></p>	<p>②授業の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施 ・授業参観しやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の工夫を行っているか」の質問で、教員が「かなり」と「少し」と答えた割合は87%だったに対して、「情報がなくて、わからない」と答えた保護者の割合が28%であった。家庭への情報発信をさらにすすめていく必要があると感じた。
<p></p>	<p>③課題提出の厳守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題予定・課題箇所の明示 ・未提出者への提出指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、各学年が事後の指導や課題の提示方法など、様々な工夫を試み、目標の5%を達成できた。気を抜くことなく、取り組む姿勢など内容面の充実を目指す必要がある。
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<p>①進路情報の時宜を得た的確な提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の動向の把握 ・進路情報の作成と提供 ・「進路だより」の発行 ・模試の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報量は昨年より増加したが、生徒を通して保護者に情報がしっかり伝わっているかどうか疑問である。
<p></p>	<p>②補習、ドリカム教室等の行事の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、教科と連携による、生徒の実態・要望に即した行事計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生はほぼ1年中、補習やドリカムを実施していて、満足度も高いと思われる。1、2年は、部活動等の兼ね合いもあり、ドリカムの実施回数には限界がある。1、2年の長期休業中の補習は参加者もほぼ全員であり、充実したものとなっている。早朝補習は、生徒も教員も、部活動や家庭の都合で限界があるが、もう少し参加者を増やす必要がある。
<p></p>	<p>③希望する進路実現のための学力の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層への計画的な指導と下位層への補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は数字の上では、目標を達成できなかったが、近隣の受験校と比較すると例年より良い結果が出ている。 ・2年生も目標は達成出来なかったが、2年生は1年時よりも顕著な成績の伸びが見られた。 ・1年生は3回の進研模試を通して、過年度比較において過去をかなり上回る結果が出せた。また、全統高1模試を受験した結果、受験に対する意識付けにつながっていくことを期待したい。

生徒会活動 (生徒会部)	①生徒が主体的に取り組むことができる行事の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> 各行事要項の改善 生徒会部での情報の共有 反省に基づいた来年度行事要項の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 南高祭の反省をもとに来年度の実施計画を立てた。準備期間のスケジュールなどについて十分な見直しと修正を行うことができたと考えられる。 来年度は生徒が主体的に取り組むことが更にできる計画を立てたい。
	②本校や周囲の環境に応じた部活動運営の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> 内規の見直し 施設、設備の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の状況に合わない内規や規約を見直した。運用に関しては今年度末から来年度になるので設定した項目に合わせ判断、決定していきたい。 今後も毎年、生徒会部で内規を確認し、現状の学校内外の状況に適していないものに関しては見直ししていく必要がある。
生活指導 (生徒指導部)	①身だしなみ指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> 集会時や指導を受ける際の服装の徹底 校門における服装指導の実施 服装指導強化週間の年2回の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の85%、保護者の83%が「身だしなみ指導をしている」と評価しており、職員も昨年度より5ポイント増加している。身だしなみ指導とあわせて遅刻や挨拶などの指導の強化を図った。学校全体が落ち着いた雰囲気になってきているが、更なる向上を目指す必要がある。
	②交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> 早朝交通安全指導の実施 警察職員による交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の74%、職員の87%が「交通事故防止について指導している」と評価しており、職員については昨年度より9ポイント増加している。交通事故数が昨年度より減少しており、今年度実施した生徒指導部職員による各学年単位での交通安全講話の効果が出ていると考えられる。
	③いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 人権講話の実施 いじめの早期発見、事案への適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> 学校環境調査や情報交換の場で、いじめにつながる可能性があるものまで積極的に認知し、その解決に向けての取り組みをした。 ネットパトロールで報告された生徒の指導方法を体系化して指導したことにより、報告数が昨年度の10分の1に減少した。
防災教育 (総務部)	①生徒の防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練シェイクアウト訓練への積極的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練やシェイクアウト訓練など、教職員や生徒の意識は少しずつ向上していると思われるが、保護者の認知度が低いということで、今後は防災に関して保護者との連携を強化していくという観点から、保護者向けの情報発信を実施していく必要がある。
P T A 活動 (総務部)	②P T A 行事への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> P T A 行事の参加数の増加 P T A 行事の保護者への浸透 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会・理事会をはじめとしたP T A 活動については、参加人数などは例年とほぼ変化は見られなかった。ただ、今後、P T A 活動の内容をより一層多くの保護者に知ってもらうためにH P 等を利用した広報活動を充実させていく必要がある。
学校保健 (保健厚生部)	①校内美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平常清掃・大掃除の徹底 ゴミの分別・減量の徹底 美化委員会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃・大掃除ともに、時間や人数の制約がある現状の中で、よく機能した。 美化委員会は、ポスター作成・点検等、学校保健に関する活動を意欲的に行うことができた。今後も委員会活動で生徒が活躍できる場を考えていきたい。 夏休みに部活動生徒による清掃を定期的に行えたことで、トイレを清潔に保つことができた。次年度以降も継続して清掃実施していきたい。 大掃除は、扉の側面の清掃など、生徒に細かい指示をだせば、より行き届くと思う。チェックリスト等を作成するなどし、さらに具体的な掃除方法を示していきたい。

	②保健厚生部と学年との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校不適応生徒の早期発見・早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・不適応生徒の早期発見、情報共有がうまくできていると感じている。次年度も、学年会・分掌会・教育相談委員会と情報共有を密にしていきたい。 ・スクールカウンセラーとの連携は、例年同様、円滑に図ることができた。 ・教育相談活動の拡大推進によって、スクールカウンセラーとのカウンセリングを毎月希望される保護者が増えている。
図書館活動 (図書部)	①図書の充実と図書館利用者の増加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・読書指導の充実 ・月毎の貸出冊数の調査と公表 ・図書館の企画と広報誌『ライブラリー』による広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も、様々な取組の効果もあってか、目標とした「年間貸出冊数1000冊」を概ね達成することができた。 ・一昨年度から新しく実施した「読書週間企画」や、本年度に新しく企画した「午後の図書館ミニコンサート」を実施し、図書部としての目的を概ね達成することができた。
研修 (教務部)	①研究授業による現職教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な研究授業の実施 ・時間割変更の工夫 ・秋に研究授業期間を設定 ・計画的な研究授業の実施 ・時間割変更の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、研究授業週間以外にも初任研2名、10年研3名の研究授業があった。また、初任研の会場になるなど、さまざまな研究授業の機会が増えた。 ・校長先生の授業参観はとてもよい刺激になった。その後の評価シートによる反省も参考になった。 ・今年度は、研究授業の当日のアナウンスがなかったケースが有り、実施して頂いた先生には大変迷惑をおかけした。 ・研究授業への参観人数等を報告してもらおう取組について検討していきたい。
多忙化解消	①長時間勤務の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・退校時間の厳守 ・考査時間を利用した、早めの退校時間の設定 ・会議の実施の有無の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員の時間外の勤務時間が依然として長い。本人と面談を進めながら、さらに学校全体の取り組むべき課題として意識付け、改善に努めたい。 ・校務主任会や職員会議の回数を、例年に各2回、減らすことができた。議案の精選や一度の会議の議案の数の調整など、引き続き、細かいことを積み重ねながら多忙化解消に努めたい。

総合評価	<p>各分掌が、学校評価アンケートや自己点検により、それぞれの課題を把握することができた。特にそれぞれの課題については、家庭への情報発信のさらなる向上、学習課題に取り組む生徒の姿勢のさらなる向上、学校行事に主体的に取り組ませること、HP等の広報活動の充実、教育相談部会での内容のさらなる情報共有を密にすること、研究授業の機会の充実、一部の職員の時間外の勤務時間の多さ、などが挙げられている。それぞれの分掌に与えられた業務の中で、今後も引き続き改善に努めたい。</p> <p>なお、成果として挙げたことは継続しながらも、自己点検に努め、さらなる改善に結びつけていかなければならない。</p>
------	--

○令和元年度の自己評価結果

<p>本年度の重点目標</p>	<p>「学力」と「人間力」を育成し、「自己実現」を図る。その実現のために、下記(1)～(3)に取り組む(重点目標は各項目のア)</p> <p>(1) 学力の育成(目標;基礎学力の定着と応用力の伸張。進路目標の実現)</p> <p>ア. 授業力の向上(アクティブ・ラーニング型授業及び考査問題の工夫、総合的な探究の時間の着実な実践)</p> <p>イ. 家庭学習習慣の確立</p> <p>ウ. キャリア教育の推進</p> <p>エ. 個に応じたきめ細かな指導</p> <p>(2) 人間力の育成(目標;自己肯定感と帰属意識の涵養。道徳性・社会性の向上)</p> <p>ア. 学校行事の充実(より生徒主体の学校行事へ)</p> <p>イ. 部活動の活性化</p> <p>ウ. 基本的な生活習慣の確立</p> <p>エ. 人権教育の推進</p> <p>(3) 教職員の多忙化解消(目標;月間在校時間 80 時間超ゼロ)</p> <p>ア. 部活動時間の適正化(ガイドラインに沿った活動で、加重負担を軽減)</p> <p>イ. 勤務の割り振り変更・振り替え・年休の活用促進</p> <p>ウ. 業務の見直しと再構築</p> <p>エ. 安全衛生委員会との連携</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p> <p>(表中の割合を示す数値については、生徒・保護者、教員像のアンケート結果による。)</p>
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>① 学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回学習時間調査の実施 ・9月に家庭学習強化週間の設置 ・授業での予習、課題点検の実施 ・個人面談、学習相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間調査の結果において、2年生は学習時間が減っているため、日頃の学習習慣を生徒に身につけさせるよう学年に働きかけていく。 ・家庭学習強化週間を実施した中で、学年の取組として「学習の記録」を行ったことが、教員にあまり話しかけてこない生徒に対するコミュニケーションツールとして有効であった。今後も継続していきたい。
	<p>② 授業の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施 ・授業参観しやすい環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、「授業の工夫を行っているか」の質問で、「かなり」と「少し」と答えた教員の割合を合わせると92%だったに対して、「情報がなくて、わからない」と答えた保護者の割合は31%であった。家庭への情報発信をさらにすすめていく必要があると感じた。
	<p>③ 課題提出の厳守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題予定・課題箇所への明示 ・未提出者への提出指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、各学年が事後の指導や課題の提示方法など、様々な工夫を試み、目標の5%を達成できた。気を抜くことなく、取り組む姿勢など内容面の充実を目指したい。
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<p>① 進路情報の時宜を得た的確な提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の動向の把握 ・進路情報の作成と提供 ・「進路だより」の発行 ・模試の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報は、教員・生徒・保護者に対して積極的に提供している。特に、保護者には、絆ネットやホームページ等を通じて伝えているが、もう少し周知できるとよい。 ・進路情報は日々変化していくので、教員・生徒・保護者に対して適切に提供していくことが今後も重要だと感じている。今後もより高い満足度が得られるように提供していきたい。
	<p>② 希望する進路実現のための学力の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層への計画的な指導と下位層への補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員・生徒・保護者におおむね良好な結果ではあるが、工夫・改善の余地はまだあると考えている。 ・生徒の進路実現のための学力向上への努力は感じられるので、より充実した学力指導を続けていきたい。

生徒会活動 (生徒会部)	① 生徒が主体的に取り組むことができる行事の基礎作り	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事要項の改善 ・生徒会部での情報の共有 ・反省に基づいた来年度行事要項の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートや南高祭のアンケートにおいて、行事については、肯定的、前向きな意見が多かった。また、南高祭においては、昨年度からの準備により、問題点を改善することができた。また、気象の変動などの不測の事態にも適切に対応できた。しかしながら、改善点の提案もあるので順次、対応していきたい。
	② 本校や周囲の環境に応じた部活動運営の基礎作り	<ul style="list-style-type: none"> ・内規の見直し ・施設、設備の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や生徒から様々な視点からの意見、希望がある。部活動ガイドライン作成により、方針が各顧問だけの責任にならなくなったことは良かった。物品に関しては管理者を明確にすることで、施設や物品購入の計画がより円滑になった。
生活指導 (生徒指導部)	① 交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝交通安全指導の実施 ・警察による交通安全講話の実施 ・学年単位の交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のアンケート結果を昨年度と比較すると、「生徒が交通事故にあわないよう十分指導しているか」の質問に、教員の「そう思う」が11ポイント減少し、「そう思わない」が11ポイント増加して例年の数値に戻った。教員の「そう思う」が11ポイント減少したのは、今年度、下校時の指導を減らしたことが原因ではないかと考えている。なお、昨年度の交通事故に対する意識が高かった理由は不明である。 ・上記の質問で、生徒が「そう思う」と答えたポイントは、昨年と変化がない。4月から継続的に実施している登校指導（週1回の学校近隣交差点などでの指導）の効果かもしれない。
	② いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・いじめの早期発見、事案への適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標及びアンケートの表現を「インターネット上のルールやマナー」から「いじめ防止を含めた人権教育の推進」に変更したためか、「そう思う」が保護者4ポイント、生徒2ポイント、教員5ポイント減少した。保護者の「情報がなくて、わからない」は、相変わらず4割ある。 ・人権講話は、12/5 朝礼から、12/23 終業式へ日程を変更して実施した。
P T A 活動 (総務部)	① P T A 行事への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A 行事の参加数の増加 ・P T A 行事の保護者への浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果では、51%の保護者が、「学校はP T A 行事の内容を工夫していると思うか」の質問に対して「かなりそう思う・少しそう思う」と回答しており、昨年度並みであった。また、「情報がなくてわからない」という評価も昨年並みであった。役員会・理事会をはじめとしたP T A 活動については、参加人数などは、例年とほぼ同様で、変化は見られなかった。ただ、HP や絆ネットなどでの情報発信の頻度は、年々増加しているものの、まだまだ保護者の満足いくような情報量ではないようである。今後、さらなる広報活動の充実を図っていく必要がある。
防災教育 (総務部)	① 生徒の防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練シェイクアウト訓練への積極的な取組 ・訓練の情報を保護者へ提供し、保護者の訓練に対する理解と認知を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、「防災教育」について、学校の取組状況を教職員や生徒は、十分に認知している一方で、保護者には浸透していない結果であった。保護者の回答をみると、肯定的な評価が昨年は、35%だったのが今年度は、37%と微増、「情報がなくてわからない」とする評価は、昨年度も今年度も47%と変化がなかった。避難訓練やシェイクアウト訓練など、教職員や生徒の意識は確実に向上していると思われるが、保護者の認知度が相変わらず低いということで、今後はさらに防災に関する情報を配信し、保護者の認知と理解を深めていく必要がある。

<p>学校保健 (保健厚生部)</p>	<p>①保健委員会・美化委員会活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施・集約し、文化祭などで発表する ・「保健だより」を保健委員が教室で伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで『環境美化に積極的に取り組むよう指導している』については、35%の保護者が、「情報がなくてわからない」と答えている。毎日の清掃なので外から見えない部分もあることの理解を求めたい。 ・保健委員会は、クラスでの保健便りの内容を発表するなど、活動の幅を広げている。 ・今年度は医薬品について、生徒アンケートをとり、内容を分析した。来年度の文化祭で掲示発表する予定である。 ・美化委員会は、清掃点検、行事前の清掃などを行ったが、もう少し活動の場を作る必要がある。 ・来年度は保健委員会を月1回、定期的に関く予定である。また美化委員会でも減災のことを考えて、教室環境の整備を行いたいと考えている。
<p>図書館活動 (図書部)</p>	<p>①図書の充実と図書室利用者の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書指導の充実 ・月毎の貸出冊数の調査と公表 ・図書館の企画と広報誌『ライブラリー』による広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、『魅力ある図書館づくりに努め、広報活動を行っている』との回答数が、職員（一昨年85%→昨年84%→今年83%）・生徒（一昨年65%→昨年72%→今年61%）・保護者（一昨年35%→昨年39%→今年36%）であった。図書部の地道な取り組みが一定程度は評価されたようだが、より高い評価が得られるように今後も努力していきたい。 様々な取り組みの効果もあって、本年度も目標とした「年間貸出冊数1000冊」を概ね達成することができた。3年前から新しく実施した「読書週間企画」をはじめとした幾つかの行事を、本年度も着実に実施することによって、図書部としての目的を概ね達成することができた。
<p>研修 (教務部)</p>	<p>①研究授業による現職教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な研究授業の実施 ・時間割変更の工夫 ・秋に研究授業期間を設定・計画的な研究授業の実施 ・時間割変更の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、研究授業週間以外に、初任研2名の研究授業を実施した。また、初任研の会場になるなど、さまざまな研究授業の機会が増えた。 ・校長先生の授業参観はとてもよい刺激になった。その後の評価シートによる反省も参考になった。 ・今年度は、当日に研究授業実施者のアナウンスを行った。
<p>多忙化解消 (管理職)</p>	<p>①長時間勤務の軽減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退校時間の厳守 ・考査時間を利用した、早めの退校時間の設定 ・業務分担への配慮 ・会議の実施の有無の見直し ・部活動ガイドラインに従った部活動の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、退校時間は遵守されている。また、年休や勤務の割り振り変更は、積極的に取得されている。 ・PTAだよりをペーパーレス化してホームページにアップする他、自転車点検や校外指導、修学旅行の荷物輸送等の業務の見直しに取り組んだ。また、会議の効率化に務め、時間の短縮化を図った。これらの取組より、多忙化解消に一定の成果が見られたものの、在校時間の顕著な減少には繋がらなかった。さらに働き方改革を進めていく必要がある。特に、一部の教員に対する業務の偏りについては、大きな課題であり、来年度も引き続き、重点項目としたい。

<p>総合評価</p>	<p>学習面や学校行事においては、生徒が主体的に活動する場面が多く見られるようになり、地道な生活指導や環境整備の実践から、学校全体は、かなり落ち着いた雰囲気になってきている。</p> <p>しかし、以前から課題であった保護者・地域への情報発信については、少しずつ改善されてきているものの、まだ十分とは言えない。この点を含め、評価が低かった点については、さらなる改善に努めるとともに、評価が高かった点については、より成果が得られるよう取り組んでいきたい。</p>
-------------	--